

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年2月25日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	霧島市	代表者名	市長 中重真一
担当者部署	企画部	連絡先電話番号	0995-64-0933
担当者役職	主任主事	担当者氏名	富吉 雄平
住所	899-4394 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	中山 健太
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	RPA・AI-OCRについて、基礎的な知識や成功事例だけではなく、市職員として導入に携わった経験から、うまくいかなかった点、思ったような成果が出なかった点などの本事業における課題点も紹介いただいた点
アドバイザーへの要望事項	今回は担当課への講演でしたが、今後、全庁的に行うことがあった際にはご助言、ご協力をよろしくお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月19日	13時30分	16時00分		150
3-2. 派遣場所	会場名			最寄駅	
	所在地			最寄駅からの交通手段	
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 霧島市職員及び関係団体	人数 16人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) 令和3年度にRPA・AI-OCRの導入を検討しているところであるが、事務量調査により、RPA等の活用による業務改善が見込まれる各課職員のRPA・AI-OCRに対する理解	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	RPA・AI-OCRの活用が見込まれる各課職員のRPA・AI-OCRに対する基礎的な知識の習得。また、それぞれの業務における活用方法や活用事例等をご紹介いただき、業務改善への意識付けを期待する。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	RPA・AI-OCRを活用することで、業務改善が見込まれる課に対して、RPA・AI-OCRの基礎的な知識や活用事例、実際に導入してみても起こった問題や、その後の課題などの紹介と助言。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	RPA・AI-OCRの活用が見込まれる課の職員に対し、基礎的な知識や活用方法などの共通理解を得ることができた。また、他自治体の活用事例や課題等を知り、各課における業務フローを見つめ直し、業務改善への意識を高めることが出来た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	導入方法が本市で想定しているものとは異なっていたため、シナリオの職員作成の部分についてもう少し詳細にお聞きしたかった。 また、業務の都合等もあり、税務課、子育て支援課等のRPA・AI-OCRに強い関心がある課の全てに対して講演を行うことが出来なかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は職員の意識付けを目的としたためアンケートは実施しませんでした。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

